

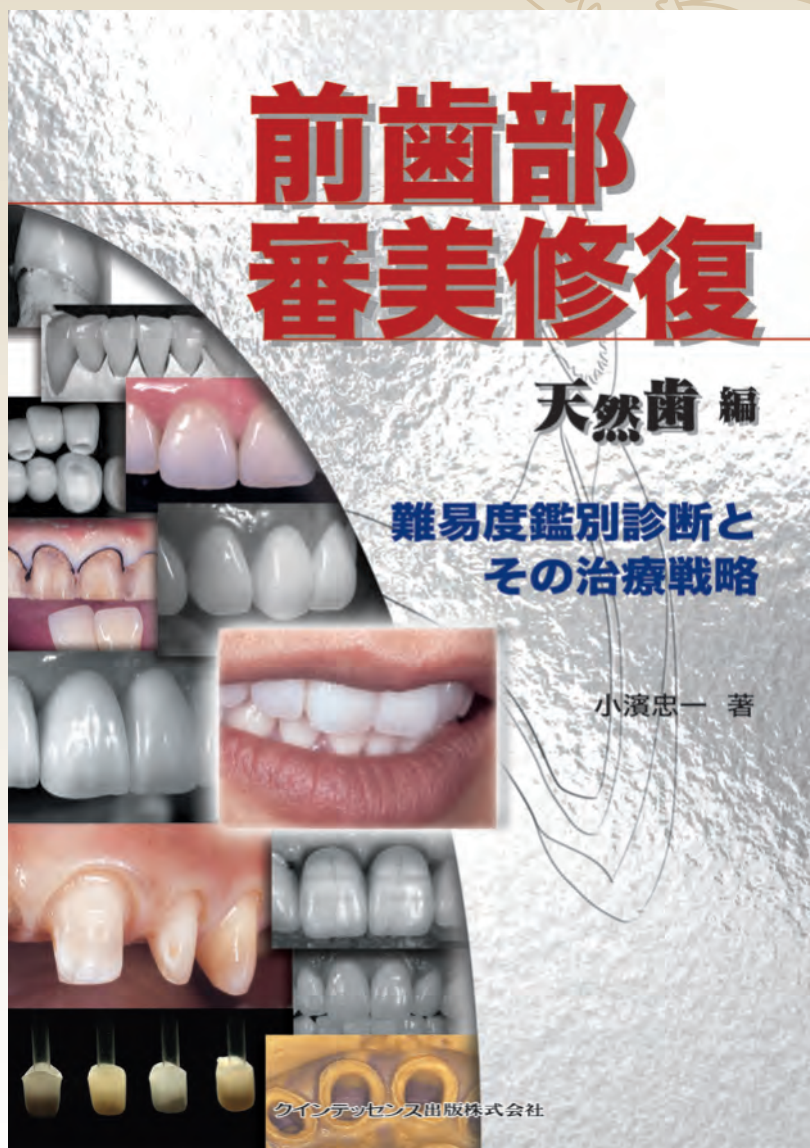
2007年7月、待望の発刊!

前歯部審美修復 天然歯 編

難易度鑑別診断とその治療戦略

小濱忠一 著

新しい時代の審美、それは生物学的ガイドラインと
最新のマテリアルを活用した予知性の高い審美に他ならない。



誰もが系統的に学べ、
結果をだせる審美修復の
詳細なノウハウが
ここにある。

前歯部審美修復
インプラント編 および
テクニック編 DVD
近日刊行予定

●サイズ:A4判 ●288ページ ●定価:18,900円(本体18,000円・税5%)



クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

TEL: 03-5842-2272 (営業) FAX: 03-5800-7592 <http://www.quint-j.co.jp/> e-mail mb@quint-j.co.jp

本書を審美修復の「辞書」のように使いこなし、読みこなしてください。
—— 知りたかったこと、知らなかったことの答えが**必ず**見つかります。

CONTENTS

第1章 審美修復治療の新しい治療概念

1. 根管治療歯にメタル・セラミックスを選択する際の臨床基準とその限界

- 1-1. 口腔内の条件に適したマージン部の設計の必要性
- 1-2. ディスアピアリング・マージンの適応範囲
- 1-3. 従来型ポーセレン・マージンの適応範囲
- 1-4. モディフィケーション・マージンの適応範囲

2. 審美修復の新たな治療概念に基づく根管治療歯における修復物の選択

- 2-1. 従来型支台築造、およびセメント合着の問題点
- 2-2. 現在の支台築造 - 接着性レジン・ポスト&コア・システム
- 2-3. 合着から象牙質接着システムへ
- 2-4. ポーセレン・ラミネート・ベニア (PLV) 適応範囲の拡大
- 2-5. オール・セラミック・クラウン修復の適応範囲

3. 総括：生活歯・根管治療歯に対する修復物およびマテリアル選択のガイドライン

- 3-1. 修復物の選択基準とその対応

第2章 治療のゴールを見極めるための鑑別診断と考慮事項

1. 顔貌および口唇との調和：その診査と治療計画の実際

- 1-1. 審美的要素の診査①：歯列の正中と切縁線決定のための診査の実際
- 1-2. 審美的要素の診査②：口唇 - 歯 - 歯肉の関係 (スマイル・ライン) の診査の実際
- 1-3. 総合診断、治療計画、前処置の実際
- 1-4. 最終印象採得後の歯科技工士への情報伝達：修復物の口腔内試適時の評価と対応

2. 歯科技工士との連携に基づく適切な色調回復

- 2-1. 適切な色調回復のために考慮すべき事項
- 2-2. 支台歯形成とディスカラレーション状態 (削除量、変色状態)
- 2-3. 適切な情報が含まれたシェード・テイキング

3. 歯科技工士との連携に基づく適切な歯冠形態の回復

- 3-1. 審美的歯冠形態回復のための考慮事項
- 3-2. 歯冠形態と歯肉レベル評価のためのガイドラインと基本的な活用例
- 3-3. 症例の条件に応じて応用するアレンジメントのいろいろ

4. 支台歯周囲組織とクラウンとの調和

- 4-1. 術後症例から学ぶ：生物学的要件に関するガイドラインの活かし方
- 4-2. 支台歯形成と印象採得の留意事項
- 4-3. 印象採得
- 4-4. 条件が異なる臨床例における対応

5. 支台歯周囲組織とポンティックとの調和

- 5-1. 生理的・審美的・機能的なポンティック製作において考慮すべき事項
- 5-2. 欠損部歯槽堤と調和したポンティック形態を得るための基本症例 - 補綴処置のみで対応可能な場合
- 5-3. さまざまな欠損部歯槽堤への対応
- 5-4. 歯科技工士とのコラボレーションの実際

第3章 複雑な症例の治療段階別解説

きりとり線

注文書

前歯部審美修復 天然歯 編
難易度鑑別診断とその治療戦略

冊注文します。

●お名前

●TEL

●FAX

●ご住所 (〒)

●ご指定納入店

支店